

殺虫剤

農林水産省登録
第22854号

日曹 フェニックス[®]

®は日本農業(株)の登録商標

フオアブル

チョウ目害虫に優れた効果!
効きめが長いから安心!!

適用拡大

使用方法

無人航空機散布
だいず、えだまめ、てんさい、
くり(2~4ℓ/10a)

害虫

だいず、えだまめ(オオタバコガ)

※写真はイメージです。



ヒメボクトウと
フタモンマダラメイガ防除
にもお使い頂けます!



ヒメボクトウ



フタモンマダラメイガ



被害樹

適用作物 りんご・なし・もも・ネクタリン・小粒核果類・おうとう・ぶどう・ブルーベリー・
かんきつ・キウイフルーツ・かき・くり・びわ・だいず・えだまめ・てんさい・茶・さくら



ハスモンヨトウ



リンゴコカクモンハマキ



チャハマキ



モモンクイガ



コスカシバ



クビアカスカシバ



日本曹達株式会社

★新しいタイプの殺虫剤

新しいタイプの殺虫剤で、害虫の筋肉を収縮させるという従来の殺虫剤にない作用機作を有します。

ハスモンヨトウ



筋肉収縮
摂食停止

★チョウ目害虫に優れた効果

幅広いチョウ目害虫に高い効果を示します。幼虫・成虫に対して活性を示し、特に加害ステージである幼虫に高い活性を示します。

★速やかな食害抑制効果

致死まである程度の時間がかかりますが、速やかに摂食行動を阻害します。

★効果の持続性に優れる

散布後、長期間にわたって安定した効果を示します。

★抵抗性害虫にも有効

有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤、ベンゾイルフェニルウレア剤、BT剤等の薬剤に抵抗性の発達した害虫にも有効です。

★天敵・有用昆虫に安全性が高い

チョウ目昆虫にのみ選択的に活性を示します。それにより天敵を温存でき、ハダニやカイガラムシ等の天敵減少に起因する害虫の大量発生が起こりにくい傾向が見られます。ミツバチ・マルハナバチに対する影響も少ない薬剤です(カイコに対しては長期間影響があるので注意が必要です)。

【適用病害虫および使用方法】

2023年1月適用拡大

(2023年1月現在の登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
りんご	ハマキムシ類、キンモンホソガ、ケムシ類、ギンモンハモグリガ	4000~6000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	シンクイムシ類、ヨモギエダシャク、ヒメボクトウ、オオタバコガ	4000倍					
なし	ハマキムシ類	4000~6000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	シンクイムシ類、ケムシ類、フタモンマダラメイガ、ヒメボクトウ	4000倍					
すもも	コスカシバ	200倍	5~200ℓ / 10a	開花期まで	1回	樹幹部及び主枝に散布	3回以内 (樹幹散布は1回以内、 散布は2回以内)
	シンクイムシ類、ケムシ類、ハマキムシ類、コスカシバ	200倍					
小粒核果類 (うめ・すももを除く)	ケムシ類、コスカシバ	4000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
うめ	コスカシバ	200倍	5~200ℓ / 10a	開花期まで	1回	樹幹部及び主枝に散布	3回以内 (樹幹散布は1回以内、 散布は2回以内)
	ハマキムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、ケムシ類、コスカシバ	4000倍					
もも ネクタリン	ハマキムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、ケムシ類、コスカシバ	4000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (樹幹散布は1回以内、 散布は2回以内)
	コスカシバ	200~500倍					
おうとう	コスカシバ、ケムシ類	4000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (樹幹散布は1回以内、 散布は2回以内)
	ハマキムシ類	4000~6000倍					
ぶどう	ハスモンヨトウ、ケムシ類、ハマキムシ類、スカシバ類、モンキクロノメイガ、ミノガ類、ホソオビツチイロノメイガ	4000倍	200~700ℓ / 10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (樹幹散布は1回以内、 散布は2回以内)
	スカシバ類	500倍					
かき	フタモンマダラメイガ、スカシバ類	200倍	5~200ℓ / 10a	開花期まで	1回	樹幹部及び主枝に散布	3回以内 (樹幹散布は1回以内、 散布は2回以内)
	カキノヘタムシガ、イラガ類、ハマキムシ類、ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ、ケムシ類、ハスモンヨトウ	4000倍					
くり	モノゴマダラノメイガ、クスサン	40倍	2~4ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
	アゲハ類、ハスモンヨトウ、ハマキムシ類、ケムシ類、ヨモギエダシャク	4000倍					
かんぎつ	アゲハ類、ハスモンヨトウ、ハマキムシ類、ケムシ類、ヨモギエダシャク	4000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
ブルーベリー	ケムシ類						
キウイフルーツ	スカシバ類、ハマキムシ類、キロマイコガ、ケムシ類	4000倍	200~700ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
	びわ	オオタバコガ					
だいち	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ウコンノメイガ、ネキリムシ類、ツメクサガ	16~32倍	0.8ℓ / 10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
	ハスモンヨトウ	2000~4000倍					
えだまめ	オオタバコガ、ウコンノメイガ、ネキリムシ類、ツメクサガ	4000倍	100~300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
	ハスモンヨトウ	2000~4000倍					
てんさい	オオタバコガ、ウコンノメイガ、ネキリムシ類、ツメクサガ	4000倍	100~300ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
	ヨトウムシ	32倍					
茶	ヨトウムシ	40倍	2ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
	ヨトウムシ	4000~6000倍					
さくら	チャノホソガ	2000~4000倍	200~400ℓ / 10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回
	チャハマキ、チャノコカクモンハマキ、シャクトリムシ類、ハスモンヨトウ	2000倍					
さくら	チャドクガ、ミノガ類	4000倍	200~700ℓ / 10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	ケムシ類	4000倍					

正しく安全にお使いいただくために

●長期静置した場合は粘性が高くなるので、使用前に瓶を軽く数回振ってから使用してください。●植物体への浸透移行性による効果は弱いので、かけ残のないように葉の表裏に十分散布してください。●無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布装置その他散布装置の十分な点検を行ってください。④散布薬液の飛散によって自動車やカーポートの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。⑤散布終了後は次の項目を守ってください。(a)使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。(b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。●ぶどうの幼果期から果粒肥大期に使用する場合は、果粉の溶脱が生じるおそれがあるので注意してください。●西洋なしの品種ルレクチエでは落花後から袋かけ前までの散布についてはリング状の葉斑が生じるおそれがあるので使用をさけてください。●4000倍希釈液を枝幹害虫防除に使用する場合は、幼虫の食入前に樹幹部および主枝に十分散布してください。●蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように散布してください。●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。●水産動物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所に置かないでください。



技術資料

枝幹害虫 対策ガイドブック



殺虫剤

フェニックス[®] ルアブル

フェニックス® フロアブル

有効成分:フルベンジアミド…18.0%



果樹分野の適用作物



りんご



なし



すもも



うめ



あんず(小粒核果類
での登録です)



もも



ネクタリン



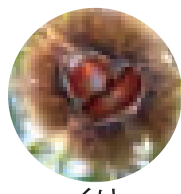
おうとう



ぶどう



かき



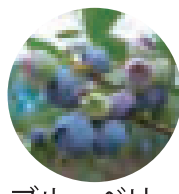
くり



かんきつ



キウイフルーツ



ブルーベリー

★
枝幹害虫に
適用が
ある作物

フェニックスの特長

1 特異な作用性でチョウ目害虫に優れた効果

害虫の筋肉を収縮させるという特異な作用性を有します。果樹の枝幹害虫(スカシバ類やヒメボクトウなど)にも高い効果を発揮し、既存剤抵抗性害虫にも有効です。

2 速やかな食害抑制効果発現と優れた効果持続性

害虫の摂食行動を速やかに停止させるので、チョウ目害虫による作物への被害を小さく抑えることができます。また、効果持続性にも優れ、散布後長期にわたって安定した効果が続きます。

3 天敵・有用昆虫に対する高い安全性

選択性が高くチョウ目昆虫にのみ高い活性を示すため、天敵類に対する影響が少なく、IPM(総合的病害虫雑草管理)での活用にも適しています。また、ミツバチ、マルハナバチに対する影響も小さい薬剤です(蚕に対しては長期間影響があるので注意が必要です)。

枝幹害虫とは？

果樹の枝や幹に食入し、樹の内部を食い荒らすことで、生育阻害や枯死を引き起こす害虫の総称です。

害虫種としては、カミキリムシ類、キクイムシ類等のコウチュウ目のほかに、スカシバ類、ボクトウガ類、フタモンマダラメイガ等のチョウ目害虫がありますが、最近では特にこれらチョウ目の被害が顕在化しています。

フェニックスフロアブルはこのようなチョウ目の枝幹害虫防除に高い効果を発揮します。

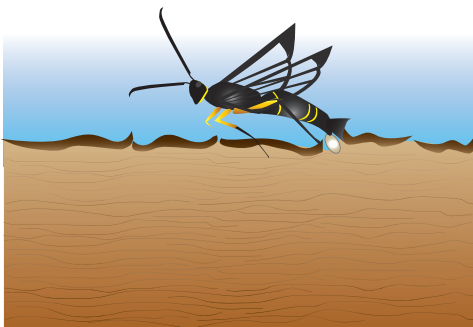


ヒメボクトウ被害樹（りんご）

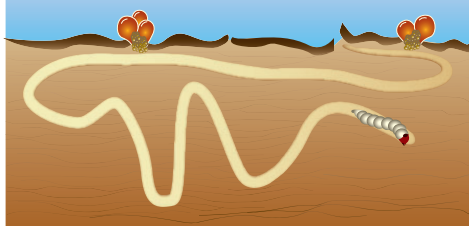
枝幹害虫 コスカシバの生態とフェニックスの効果

■コスカシバの生態

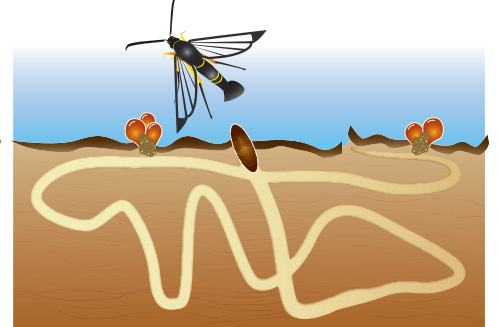
1 コスカシバは樹皮の割れ目などに卵を産み付けます。



2 卵から孵化した幼虫は、そこから木の内部へ潜り込みます。初めは樹皮下の浅い部分に食入し、徐々に深い部分に潜り込んでいきます。

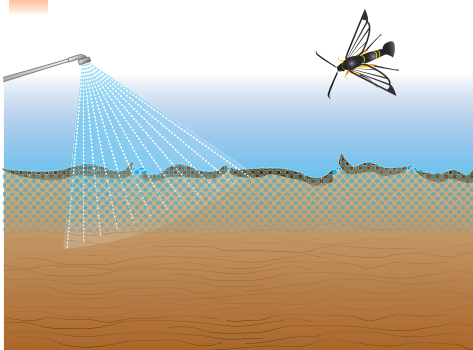


3 やがて、幼虫は樹皮に近い部分でさなぎになり、羽化して成虫になります。

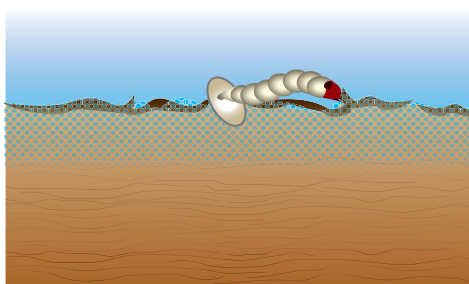


■フェニックスの効果

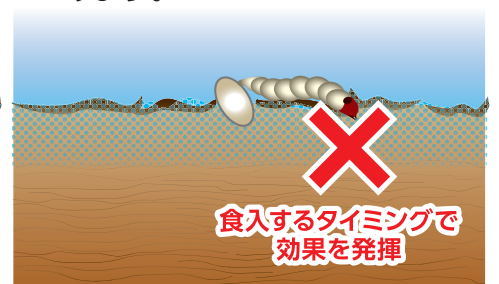
1 コスカシバが飛来してくる前にフェニックスを散布しておきます。



2 飛来してきたコスカシバに産み付けられた卵が、孵化して幼虫になります。



3 コスカシバの幼虫は樹幹部に食入しようとして、フェニックスが付着した樹皮に接触し、死に至ります。



食入するタイミングで効果を発揮

ヒメボクトウ

Cossus insularis

粗皮下で1-2齢を
過ごします(8-9月)
9月中下旬頃に
材中に穿孔

20-100卵程度、
黄色→褐色
卵期間:半月程度

卵塊

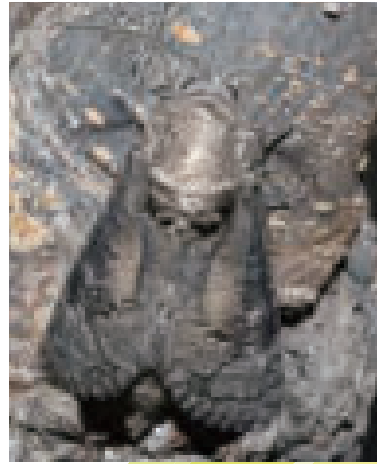
幼虫
(若齢)

拡大

粗皮を剥くと↓

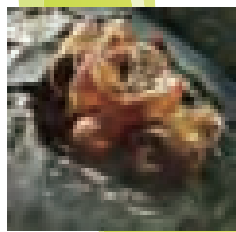
防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください



羽化後すぐに産卵します
開長約4~6cm

成虫



羽化殻
1つの羽脱孔から
複数個体が羽化します
7月下旬がピーク

羽化

樹幹内で蛹化



蛹

材中に穿孔し翌年春から
材中や形成層を集団で激
しく食害します
樹皮に多数の吐糞孔が見
られます

幼虫
(老齢)



4cm程度

被害樹



食害部から
噴出した虫糞

コスカシバ

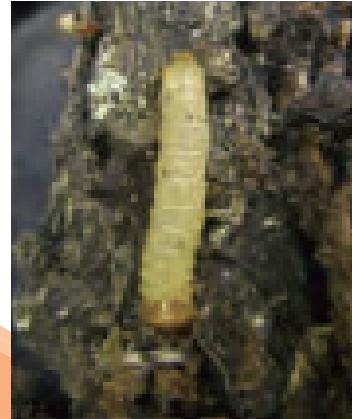
Synanthedon hector



開長約3cm

成虫

卵

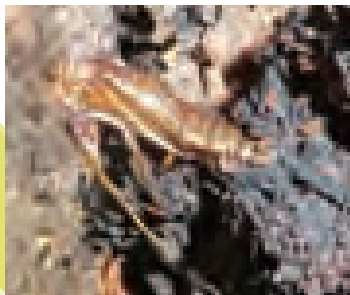


幼虫
(若齢)

防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

羽化



羽化殻
樹皮下で蛹化

幼虫
(老齢)



被害樹



食害部から
噴出したヤニ

●春処理および秋処理で
高い効果を得られます。

フタモンマダラメイガ *Euzophera batangensis*



開長約1.5cm

卵

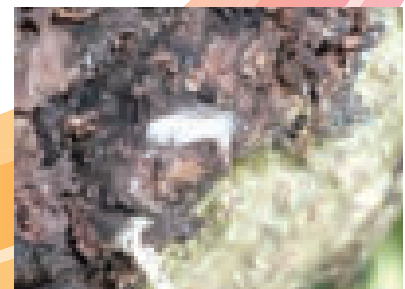


拡大

形成層、剪定時の切り口、
主枝、垂主枝の分岐部を
加害

幼虫

体長約1cm
樹皮下で蛹化



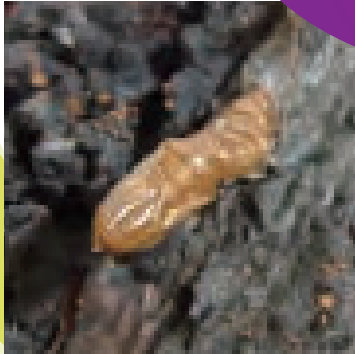
蛹

防除
タイミング

※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

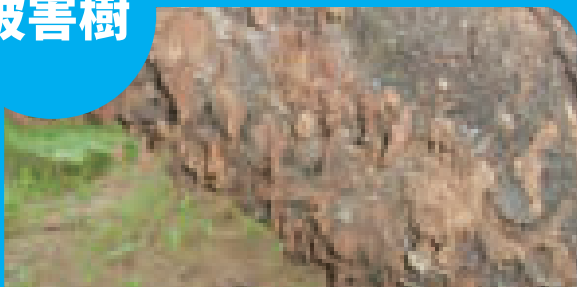
成虫

羽化



羽化殻

被害樹



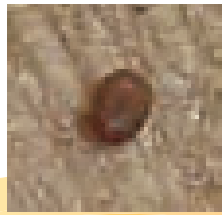
食害部から
噴出した虫糞

- 7月、9月の体系処理で
効果が安定します。

クビアカスカシバ *Toleria romanovi*



開長約4.5cm



卵：1mm程度で小さい
卵期間は2～3週間

卵

樹皮下で食害



幼虫
(若齢)

**防除
タイミング**

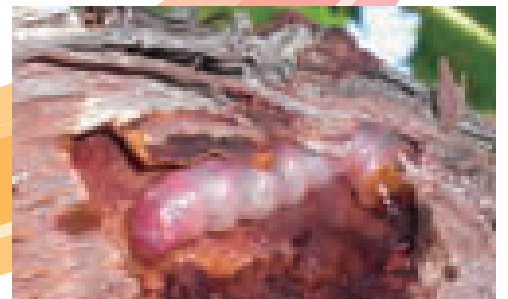
※時期は右端ページの
[処理適期]をご確認ください

幼虫
(老齢)

土中へ移動し土繭で越冬



土繭



大きいものは4cm程度

被害樹



食害部から
噴出した虫糞

●粗皮削りしてからの散布が薬剤が
付着しやすく効果的です。

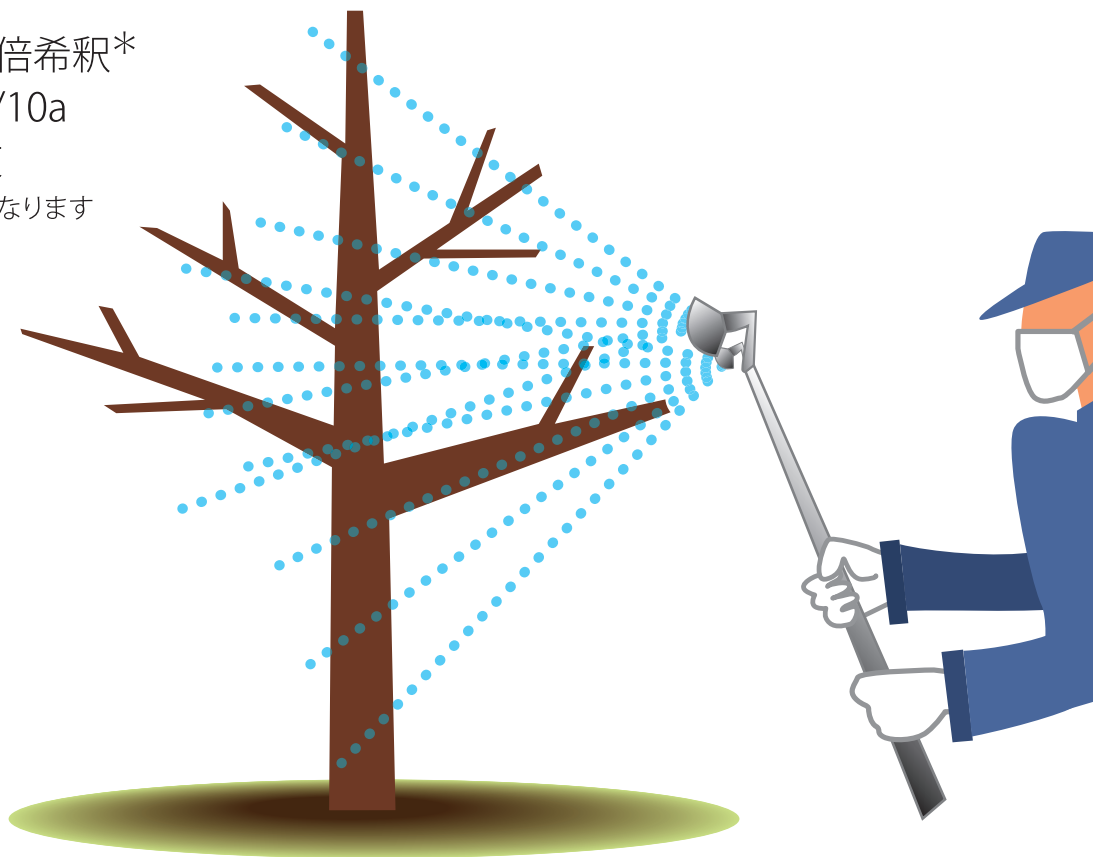
開花前に樹幹・主枝へ 高濃度少液量散布する

200～500倍希釈*

5～200 l / 10a

樹幹・主枝

*作物により異なります



**開花前は葉がないため、かけムラが少なく
産卵部位にしっかりかかりやすい**

高濃度少液量散布で枝幹害虫を防除できる作物



すもも



うめ



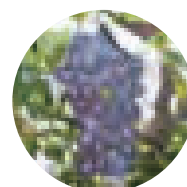
もも



ネクタリン



おうとう



ぶどう

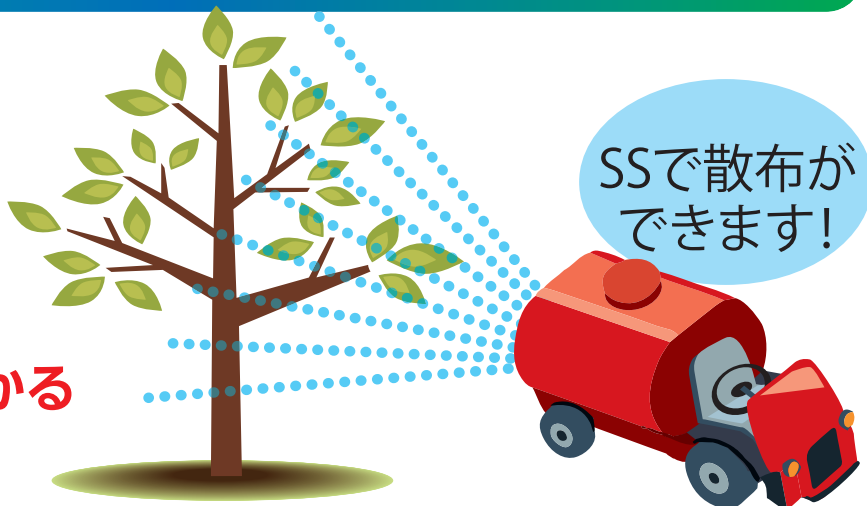


かき

生育期に樹全体へ 通常濃度で散布する

4000倍希釈
200~700ℓ/10a
樹全体(葉・果実)

他の害虫と同時に
防除ができ、
枝幹害虫の防除にかかる
労力が削減できる



通常濃度散布で枝幹害虫を防除できる作物



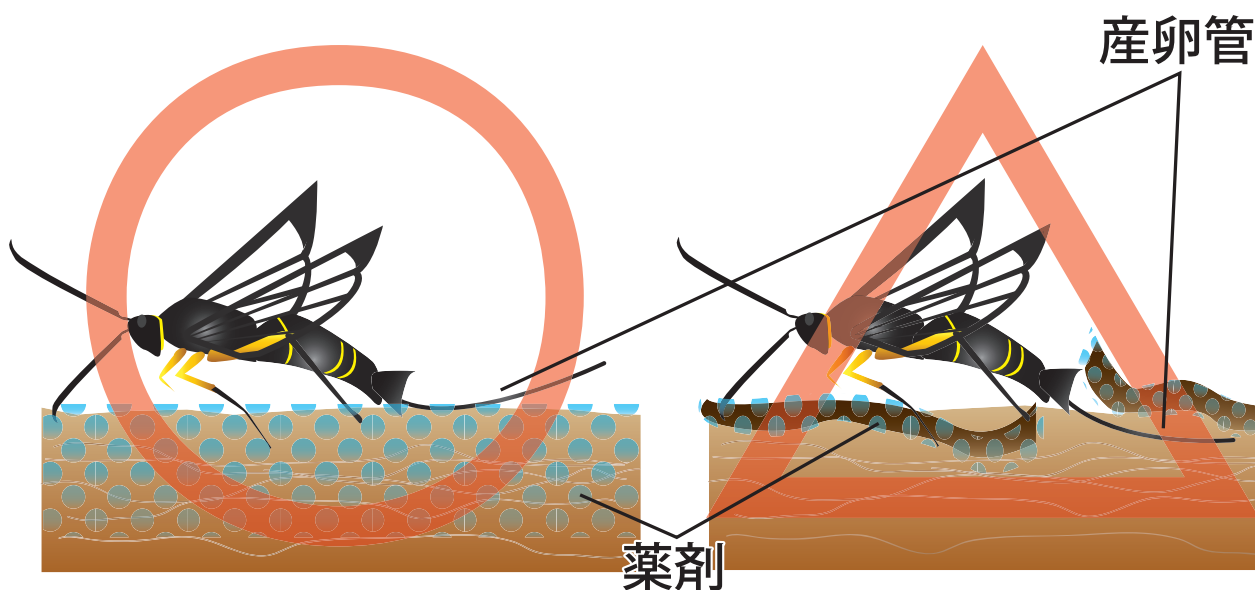
枝幹害虫と同時防除できる害虫 (作物により異なります)





粗皮削りをすると薬剤の効果 を最大限発揮できます

コスカシバは樹皮の裂傷部などの隙間やざらついた部分に産卵管を押し込んで産卵します。粗皮削りにより、樹皮の隙間を少なくし、薬剤をかかりやすくすると効率よく幼虫の食入を防止できます。また、薬剤散布の際は加害部である樹幹にしっかり散布することが重要です。



粗皮削りをした状態



粗皮削りをしていない状態
(粗皮が浮いた部分が被害を受ける)



被害の認められる樹と、 その周辺を重点的に防除

枝幹害虫は毎年同じ場所に集中産卵する傾向があります。

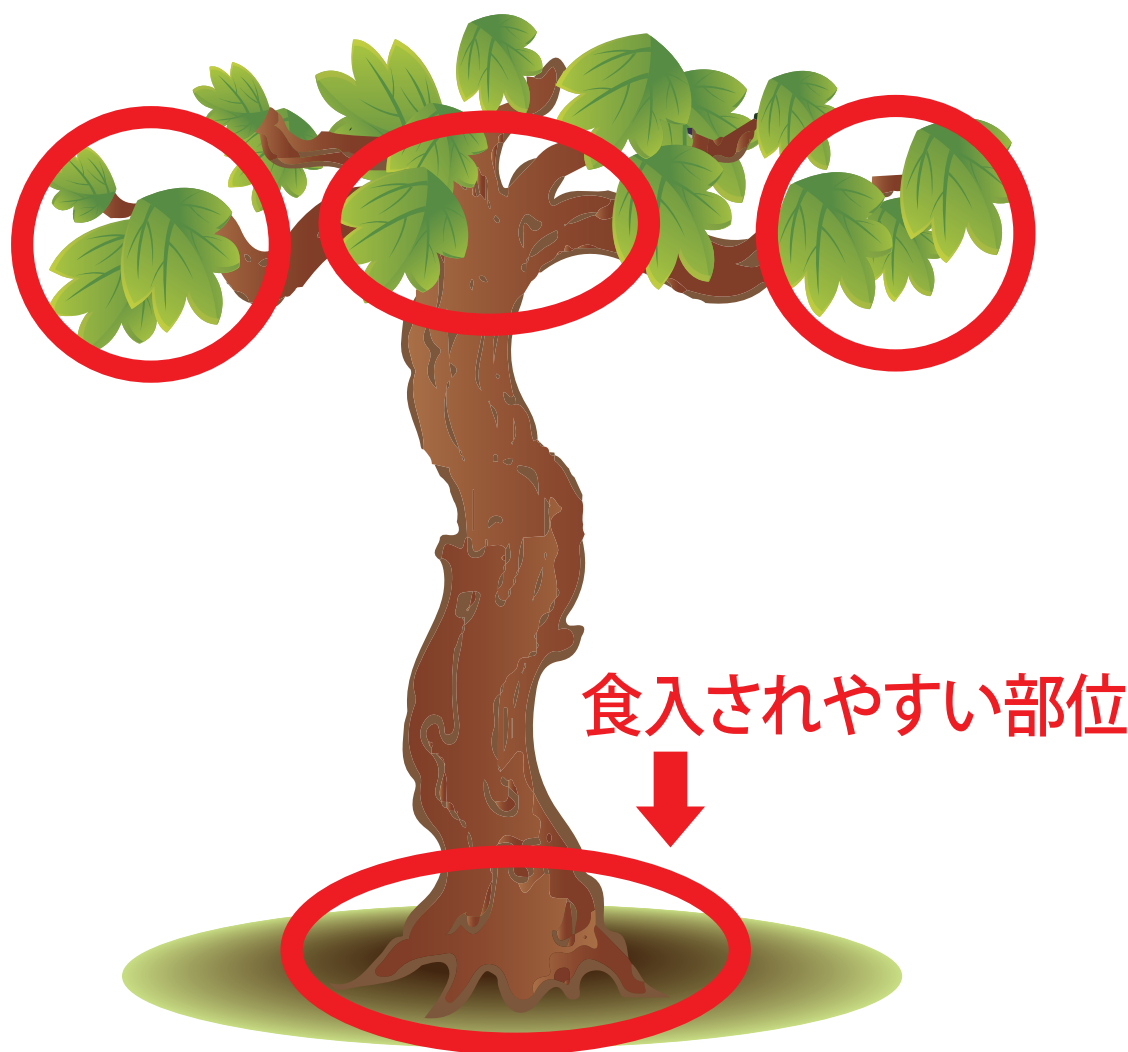
被害のある樹及びその周辺の樹を重点的に防除することで安定した効果が期待できます。





樹の食入されやすい部位 に重点的に散布

スカシバ類は地面に近いところや亜主枝部分から食入する傾向があります。SSで散布する際は補完散布することで効果が安定します。



ケムシ類防除にもフェニックス!

フェニックスフロアブルがケムシ類に適用のある作物



果樹を加害する主なケムシ類



アメリカシロヒトリに対する効果



長期間アメリカシロヒトリの発生を抑えました



和歌山県現地試験 (2015年)
作物: うめ 処理: 5月21日
撮影: 10月14日 (処理146日後)

フェニックスフロアブル4000倍処理区

無処理



※写真はイメージです

枝幹害虫の生態と防除の動画を公開中
フェニックス特設サイト



フェニックス普及会

日本曹達株式会社

NO.506-1909SP

事務局

日本農薬株式会社

2019年9月作成版 (SPA) W0591909